

## 湘南ペガサスとの出会い

ペガサス 50 ヤマモト 純弘

私が湘南ペガサスチームにお世話になってから早や13年が過ぎた。2000年の鎌倉移住を機に、以前から知合いだった湘南高校サッカー部OBの方から「オッさんチームなんだけど一緒にやらないか？」とお誘いを受けたのがキッカケだった。当初は現役世代サッカーへの未練と「まだまだ自分はヤれる！」との自惚れから生意気にもお断りをしていたが、数年後には自身の体力低下を悟り活動の場を地元湘南地区に移す事にし、2007年シーズンから本格参戦させて頂いている。

湘南高校グラウンドでの蹴球祭に初めて参加した折、年齢の近そうな方から私の父とほぼ同世代と思われる方までが青春時代さながらに、グラウンドを駆け回り、声を出し、ボールを追いかけて、ゴールを決めて一喜一憂しておられる姿を拝見し、もし今後も続けるとしたら「中途半端な気持ちじゃいけない！」と気持ちを新たにした事を覚えている。

加入後は40代のチームで活動させて頂きながら5年目に転機を迎える。「全国選手権大会 Best16 世代」との出会い（加入）でチームの方針転換を図った。功罪両面を合わせ持つ転換であった為、チーム運営（2011年途中～監督代行、翌年に監督）には正直苦勞したが、その末のリーグ優勝、カップ戦制覇、昇格など目標としていた結果を次々に得られた事は、共に戦ってくれたメンバー全員に加え、お会いする毎に励ましの言葉をかけ応援して頂いたペガサスシニアの先輩方のおかげだと思っている。

今、ペガサスシニア50で活動させて頂いているが少々苦戦している。昨年から諸事情で帰省の回数を増やしている為、試合に参加できない事も多くチームには迷惑をかけている状況だが、何とかしてこの苦境を乗り越えたいと思う。

現役高校生から80歳超のOBチームまでが脈々と連なるコミュニティーは全国を探しても「湘南ペガサス」だけではないかと思う。そこの一員として活動させて頂ける事に感謝しつつ且つ先輩方に負けないうこれからもグラウンドでボールを追いかけていたいと思っている。

